

14名

# 一般質問

市政を質す！



皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して行う質問です。

P 10	香取	憲一
P 11	島田	清一郎
	戸田	見良
P 12	植木	弘子
	小川	賢治
P 13	福島	ヤヨビ
	山崎	晴生
P 14	石井	旭
	長島	幸男
P 15	長津	智之
	鈴木	俊一
P 16	真家	功
	谷仲	和雄
P 17	村田	春樹 ※質問順

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

## 小美玉農産物ブランド戦略室設置を要望する

### 積極的な支援体制と情報発信に努めていく



#### 香取 憲一

**Q** 災害や緊急時における市の業務継続計画BCPの現状と課題について

**A** 危機管理監 災害時等において市役所機能を最大限発揮できる事を目的とし

て、本市では令和3年度末に策定をした。内閣府で示された6つの要素に照らし合わせ災害発生時の機能不全を防ぎ、早期に業務を実施できる指針としている

が、市役所内外の多数の関係機関や企業との迅速・正確な情報共有を図り、ポトルネツクの解消に努めていく。

**Q** 市内教育施設の遊具の現状と子ども達への身体発育に及ぼす影響について

**A** 教育部長 学校・幼稚園等の遊具は、文部科学省の指針に基づき、その安全性と耐久性を十分に兼ね備えた物を、学校にヒアリングを実施して整備設置している。子ども達の身体

のバランス感覚やルール、マ

ナーを学ぶなど成長過程や学校生活において必要不可欠なツールとの認識から、引き続き安全管理と効果的な運用に努めていく。

**要望** 小美玉市遊具マップを作成し、子育て世代へ積極的に発信することを要望する。

**Q** 農業・酪農・畜産・鶏卵等へ、持続可能な支援体制を目指すには

**A** 産業経済部長 国際情勢の激変による影響は、農業者の経営努力のみでは解決不可能なので、日常的なものから緊急支援的な相談までを積極的に対応できる窓口の充実に加え、関係各機関との連携を更に密にして相談体制の充実に努める。

**その他の質問**

●外部人材の登用において

●地域プロジェクトマネージャーの積極的な任用と活

用に質問・要望



## 道路の整備の状況と要望について

### 安全・安心な環境づくりに努める

**島田 清一郎**

**Q** 最近頻繁に発生する集中豪雨に対して、道路側溝・排水路・河川の処理能力について長期的な計画の中で検討がされているか。

**A** 都市建設部長 道路側溝、排水路及び河川の施設の規模は、それぞれの計画雨量に対応して決定している。開発許可においては、流末河川に負担を与えないよう、ためることを軸に、調整池の大きさを10年確率で指導している。

維持管理については、集中豪雨における局所的な冠水に対応できるように浸透を軸とした標準設計の整備を進める。

**Q** 集中豪雨により砕石が流れてしまう急勾配の道路整備の考え方について

**A** 都市建設部長 周辺の土地利用を考慮しながら、その箇所にあった修繕方法を検討・採用していく。

**Q** 区長申請の道路整備の状況について

**A** 都市建設部長 過去3年の申請件数は14件で、内6件が補助事業の採択



▲羽鳥小学校北の交差点

を受けて事業化している。市道の整備は、特定財源を確保しながら進めており、採択まで数年を要する。区長申請の応答は、予算確保が確実となつてからで、計画説明会や測量の立入などの通知をもって対応している。

**Q** 羽鳥小学校北の国道355号と市道118号線交差点に右折矢印信号機は設置できないか。

**A** 都市建設部長 この交差点の信号は時差式信号機であり国道と市道との交通量に大きな差がないのに、国道の青信号の点灯時間が長いため、時間帯によつては市道側に渋滞が発生している。信号の点灯時間と矢印信号の設置について、石岡警察署と調整を図る。



## 小美玉市が目指す教育行政は

### 「粘り強く頑張れる、誰からも信用できる」と認められる人づくり

**戸田 見良**

**水道行政について**

小美玉市水道事業（小川・美野里）維持管理、財政計画の問題・課題答弁後

**再Q** 市民の生活水を守るために水道施設（取水・浄水・配水）の中で、大規模修繕・改築した方が

**良い施設は**

**A** 水道局長 水質・施設老朽の課題もあることから、各浄水場ともに取水井戸新設、こちらが急務。

**要望** 平成21年1月の水道料金改定から10年を経過する料金体系では必要な資金確保が難しいと答申に示されているので、水道事業崩壊をする前にきちんと検討する課題がある。

**教育行政について**

**Q** 教育長は何を目指しているのか

**A** 教育長 未来の宝であり地域で宝である子どもたちには、課題や困難に立ち向かうたくましくと人としての優しさを身につけ、「小美玉市で育った子は粘り強

く頑張れる、そして信用できる」と、誰からも認められる人づくりに努めてまいります。

**Q** その後の部活動地域活動への移行進捗状況は。

**再Q** ICT教育の充実活用、指導体制について



▲玉里学園義務教育学校

**産業経済行政について**

**Q** 玉里地区地籍調査の今後の見解は

**A** 産業経済部長 個人の財産である土地管理を容易にし、土地活用を円滑に進めることが目的なので再調査の効果が早期に現れるよう事業計画に基づき確実に進めて参ります。

終活をサポートする仕組みづくりを求める

従来事業の評価と拡充に努める



植木 弘子

終活支援について

Q ますます進む高齢化の中、市民の皆さまが小美玉市で安心して人生のエンディングを迎えられるように、終活をサポートする仕組みづくりを求める。

A 福祉部長 終活が市民にとって身近な話題となるよう、講演会・講座の開設や広報紙・ホームページでの情報発信と環境整備により、ひとり暮らし高齢者の皆さまの孤独・孤立を軽減し、安心して生き生きと過ごすことができますよう従来事業の評価と拡充に努めて参ります。

推進されています。導入に向けての研究を進めて参りたい。

Q スマホ教室の進捗状況

A 福祉部長 高齢者をはじめ、情報端末に不慣れな方々を支援する事業に取り組んでいます。

Q 子どもの弱視早期発見について、視覚検査の精度向上を図って頂きたい。発見率を上げ治療につなげることは、本人とご家族の負担軽減に加え医療費の軽減につながる。そのための屈折検査機器の導入を求める。

A 保健衛生部長 現在実施の視力検査と併用することにより、見落としすることなく検査の精度を上げることが期待されています。検査スタッフの確保及び場所の設定など、十分に協議を行い、取り組んで参りたい。

Q 特殊詐欺対策について、オレオレ詐欺防止機器の貸出等支援を求める。

A 福祉部長 迷惑防止機能付き電話機や自動通話録音機などの機器を活用した被害防止策は、国のオレオレ詐欺等対策プランにおいても、有効な対策として

羽鳥小学校、納場小学校の統合は

保護者や地域住民の意見を聞きながら、個別計画の見直し、再度検討する



小川 賢治

令和3年度財政状況について

Q 財政力指数の状況は

A 企画財政部長 令和2年度0.62%に比べ、令和3年度0.60%に下がりました。これは、コロナ禍において、基準財政収入額が前年度に比べ減少したことが要因です。

Q 実質収支比率状況は

A 企画財政部長 令和2年度3.7%に比べ、令和3年度の指数が7%に上がった。これは市税や交付金等が予算より多く入った事や臨時特別給付金給付事業等の歳出が見込みより少なかった事が主な要因です。

Q 経常収支比率の状況は

A 企画財政部長 令和2年度86.2%に比べ、令和3年度の指数が85%に下がりました。これは「経常一般財源等」のうち交付税が増額となったことが要因です。

Q 公債費負担比率の状況は

A 企画財政部長 令和2年度13.6%に比べ、令和3年度12.9%に下がりました。これは、普通交付税が前年度より6億円増加し、一般財源総額が増加したことが要因です。

小美玉市公共施設等総合管理計画について

本市が保有する施設を対象とする公共施設の改善策の進捗状況について伺う

Q 羽鳥公民館、羽鳥ふれあいセンターの羽鳥駅東口複合施設への集約化について

A 総務部長 複合施設の設定、運営で事業者を公募したが、応募がなかった。今後整備手法を含めて検討したい。

Q 農村女性の家の納場幼稚園の機能移転について

A 総務部長 早急な機能移転が必要と考える。納場小学校と協議する。

Q 農村環境改善センターと竹原小学校の複合化、美野里公民館、図書館と堅倉小学校との複合化について

A 総務部長 とともに旧耐震基準の施設であり、老朽化が著しい施設です。複合化後の施設管理や運営方法等も含め、先進事例における調査、研究を進めている。

Q 羽鳥小学校、納場小学校の統合について

A 総務部長 保護者や地域住民の意見を聞きながら、財政状況や児童生徒の人口動態を検証したうえで、個別計画の見直しを再度検討する。



▲小美玉市立羽鳥小学校



公共施設個別計画は利用団体との話し合い、意見交換を早急に

施設の利用状況調査やアンケート等を実施し、調整を図る

福島 ヤヨヒ

**Q** 廃校となった各小学校の現状と今後の対応はどうか。解体までの有効活用はないのか。公民館等で解体の施設の今後の個々の計画についてはどう進められるのか。また今施設を利用し活動している団体等との話し合いや意見交換はどのように進められていくのか。

**A 総務部長** 計画に基づき順次進めていく。安全性を考え、5年以内に解体する。跡地利用は計画に基づき内部で協議している。敷地が借地の幼稚園は補正予算を行い早急に解体し返還する。公民館等についてもスケジュールに沿って利用団体との調整や機能移転の調整を行っていく。

**Q** 協議の中で市民の声を聴いているのか。利用している団体などはどのよう話し合いを行うのか。

**A 文化スポーツ振興部長** 利用状況の調査やアンケート等を実施し調整を図っていく。

**Q** 市民の声を市長はどう受け止めていくのか。

**A 市長** タウンミーティングなどで市民の意見を十分に聞いていきたい。

**Q** 給食費の無償化や減額を望むが如何か。地産地消は進んでいるか。有機農法を進め給食に取り入れるは如何か。

**A 教育部長** 無償化は財源確保が必要となるため慎重に検討する。地産地消に對しては、白米、ニラ、チンゲン菜、鶏卵は年間を通して市内生産者から購入。小美玉ヨーグルトも毎月提供している。今後も生産者、納入業者とコミュニケーションを取りながら活用割合の向上を目指す。有機米等は供給量の確保が課題なので農政課と連携を図り検討する。

**Q** 有権者を守る選挙について投票時間は午後8時までとすべきではないか。選挙公報はすべての市民に届けるべきと思う。誰もが投票できる仕組みができていくか。期日前投票では投票箱が移動するとか、投票の仕方の工夫はないのか。交通手段にも配慮を。

**A 総務部長** 期日前の午後8時までが定着している。その他広報配布等先進事例を参考に検討を重ねる。



1円でも市民からの税金であり的確な予算執行で市民サービスの向上を

不用額の発生状況を的確に把握分析し問題点・改善点を洗い出し次年度に生かす

山崎 晴生

**Q** ①計画性②弾力性③積極性の3つの観点から見た現在の小美玉市財政運営について所見を伺う。

**A 企画財政部長**

① 四半期配当制を実施し各課が予算執行に責任を持ち収支の均衡を保っている。

② 弾力性は十分確保できていると考えるが今後も経常的経費の抑制を図り弾力性を確保する。

③ 予算額と決算額の乖離が生じないよう実質収支比率3〜5%程度になるよう努める。

**Q** 物価高騰により福祉施設運営は大きく影響を受けているが、安定的なサービス提供の為に、市として福祉施設援助についてどう考えているのか見解を伺う。

**A 福祉部長** 物価高騰により社会福祉施設運営に不安を抱えている状況を推測する。関係各課と連携調整の上、福祉施設への支援を検討する。

**要望** 市民が安心して今後も福祉サービスを受けられるよう、施設への早急な支援を強く要望します。

**Q** 今後の地域医療における小美玉市医療センターの役割について。

**A 市長** 小美玉市医療センターについては、地域医療を担い市民のための中心的医療機関を目指していただくよう、連携を密に安定的かつ持続可能な医療提供体制の整備に努めていく。

**要望** 小美玉市医療センターが更に地域に根差した医療機関となるよう、市から訪問診療・訪問看護の在宅医療サービス事業所設置の働きかけを要望します。



▲小美玉市医療センター

まちづくり構想基本計画（案）空の駅『そらら』の見直しを提言する

課題解決に向け、体験型施設などいろいろな機能を盛り込む



石井 旭

**Q**まちづくり構想推進委員会の御意見や市民パブリックコメントでは、外部コンサルタント会社任せで、担当職員が考え抜いていないから、やるのが目的の公共事業の典型的な失敗事例となる誰も責任を取らないことから脱却し、勇気を持った見直しを提言する。特に、YS-11の設置など『そらら』だけに17億8千万円も投入するとは税金の無駄になるので市内施設全体で大きく見直しを提言する。

**A**産業建設部長 パブリックコメントでは、施設の整備内容や構想全体への意見など6件の意見をいただいた。これらの意見は、実施計画策定時や構想の実現に向けて参考とさせていただきます。

現在策定している基本計画には、これまでの「そらら」運営上のさまざまな課題解決に向け、体験型施設などいろいろな機能を盛り込んでいる。**Q**『そらら』に指定管理者制度導入と地域おこし協力隊の再度募集と道の

駅支援会社『シカケ』道の駅再生請負人の活用を提案する。**A**産業建設部長 「そらら」の運営は、指定管理者制度の導入による、効果的かつ効果的な施設運営を想定しており、「そらら」の拡張計画の進捗に合わせ、できるだけ早い段階での導入を考えたい。

地域おこし協力隊の再度募集は、全国的にも多くの地域活性化に結びついている成功事例があるが、様々な課題もあることから、課題を整理し活用に向けた検討が必要である。道の駅支援会社シカケの活用については、「そらら」がより一層発展していくために、強い民間企業の協力を得ることで、地域にとって大きなプラスを生み出すことは、極めて重要である。そのため、地域おこし協力隊の活用と併せ、民間企業のノウハウを活用し、「そらら」を発展させるため、あらゆる選択肢を検討し課題解決に努める。

**Q**現在の移住・定住対策は**A**企画財政部長 今年度より「移住促進住宅取得補助金」の制度を拡充しました。その他の取組みについては、「移住者向けコミュニティ情報発信事業」、「空き家活用事業」、「小美玉版デジタルコミュニケーション事業」、「学校におけるシティブロモーション事業」、「高校・大学との連携事業」、「ダイヤモンドシティブロモーション事業」、「ダイヤモンドシティブロモーション事業」やシティブロモーションも含めた情報発信についての取組みは進んでいます。移住定住促進に向けては助成金や情報発信だけでなく子育てや仕事なども含めた複合的な取組みが必要で、それが相手に届く仕組みづくりをすることで成果が生まれるものと考えます。

**Q**今後の対策は**A**企画財政部長 総合戦略だけでなく、現在、策定中の第2次総合計画後期基本計画の中でも、人口維持に向けた市全体の移住定住施策を盛り込み、総合的な取組みを地道に継続していくことが大切だと考えています。**その他の質問** マイナンバーカード制度普及実績とその活用状況推進（広報）活動

本市の移住・定住対策は

「小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「移住・定住促進」を政策分野に位置付け、各種事業を進めている。



長島 幸男

	転入	転出	差
令和元年	1,419	1,769	▲350
令和2年	1,602	1,841	▲239
令和3年	1,400	1,696	▲296

▲3年間で885名の方が市外に転出している。外国籍の方を含まない数値（単位：名）

**Q**現在の移住・定住対策は**A**企画財政部長 今年度より「移住促進住宅取得補助金」の制度を拡充しました。その他の取組みについては、「移住者向けコミュニティ情報発信事業」、「空き家活用事業」、「小美玉版デジタルコミュニケーション事業」、「学校におけるシティブロモーション事業」、「高校・大学との連携事業」、「ダイヤモンドシティブロモーション事業」、「ダイヤモンドシティブロモーション事業」やシティブロモーションも含めた情報発信についての取組みは進んでいます。移住定住促進に向けては助成金や情報発信だけでなく子育てや仕事なども含めた複合的な取組みが必要で、それが相手に届く仕組みづくりをすることで成果が生まれるものと考えます。

**Q**今後の対策は**A**企画財政部長 総合戦略だけでなく、現在、策定中の第2次総合計画後期基本計画の中でも、人口維持に向けた市全体の移住定住施策を盛り込み、総合的な取組みを地道に継続していくことが大切だと考えています。**その他の質問** マイナンバーカード制度普及実績とその活用状況推進（広報）活動



## 市道玉 313 号線の改良工事の計画について

### 側溝を含め改良工事を実施いたします！

#### 長津 智之

として農業生産の向上が大きく期待され、同時に生活道路として利便性も更に向上する側溝を含む全幅員5.6m、延長約900mの改良工事を行う。

**Q** 上高崎区には、3市1町の環境行政の拠点整備で、各自治体の目玉事業である、新こみ処理施設の整備がされました。このこみ処理施設はインフラ整備の最重要施設であることを十分理解し反対運動もありませんでした。そこで上高崎区民は、この施設の建設説明会に要望いたしました市道玉313号線の改良工事について、現在の調整状況や、改良工事の計画状況を伺う。

**A** 都市建設部長 この道路は高崎市内の霞台厚生施設と株本田霞ヶ浦工場を結ぶ道路です。上高崎区長より地権者同意書が添付された道路整備要望書が提出されており、市としては、農振農用地を繋ぐ農道として農業生産の向上が大きく期待され、同時に生活道路として利便性も更に向上する側溝を含む全幅員5.6m、延長約900mの改良工事を行う。

また新規参入の促進状況は、過去3年間で19名の新規参入者があった。

**Q** 国は今年5月の国会で農地の集約化と人の確保、育成、農地保全による荒廃防止を目指す、人農地関連法案が成立しました。そこで、本市の具体的な耕作放棄地の発生防止の取り組みや、就農における新規参入者の促進状況について伺う。

**A** 農業委員会事務局長 荒廃農地の実態把握と発生防止解消対策や違反転用発生防止対策等を重点的に取り組むことを目的とした農地パトロールを農業委員並びに農地利用最適化推進委員が行っている。また新規参入の促進状況は、過去3年間で19名の新規参入者があった。



▲市道玉 313 号線

## 若者の非婚化対策こそが人口減少対策に

### オンラインやA I を活用して結婚相談を検討していく



#### 鈴木 俊一



**Q** 学力診断テストの結果は **A** 教育長 令和3年度の学力診断テストでは、県平均をやや下回りましたが、学年が上がるごとに、県平均との差が小さくなり、改善の方向に向かっております。算数・数学にやや課題が見られました。

**Q** 2時間以上家庭で勉強しても、スマホを3時間以上使ってしまうと、その勉強した内容が全部無駄になってしまおうということが分かりましたが、本市の児童生徒のスマートフォン利用状況は。

**A** 教育長 平日2時間以上スマホを使用している本市の小学6年生は35%、中学3年生は47.5%でした。小学生中学生共に、使用時間が長時間になるにつれ、

期待されています。オンラインやA I を活用しての結婚相談も検討していく必要がある。

各教科の正答率が低下している傾向が見られました。

**Q** 堅倉小学校区内のバス通学の保護者負担は **A** 教育長 令和3年4月から、公共交通の存続に加えて、堅倉小学校区における遠距離通学児童を無償とし、保護者の負担軽減の見直しを行いました。

**Q** 発生結婚出生数は、1990年代以降、ずっと1.5人で変わっていない。婚姻数が1増えると計算上、1.5人の子供が生まれるということになる。若者の非婚化対策こそが結果的に人口減少対策につながるが、市の取り組みは。

**A** 市長公室長 石岡地方結婚相談所運営協議会では、令和2年度に1組がご成婚されました。令和3年度の参加者から2組のカップルが誕生してご成婚が期待されています。オンラインやA I を活用しての結婚相談も検討していく必要がある。

「空のえきそ・ら・ら拡張計画」：導入機能（YS-11の展示）の可否

今後行われる実施計画の中で慎重に検討していく。



真家 功

空のえき「そ・ら・ら」の拡張計画まちづくり構想基本計画について伺う。

Q 空のえき「そ・ら・ら」の拡張計画、まちづくり構想基本計画が示された。この基本計画によると、空のえき「そ・ら・ら」の敷地を拡張して、旅客機YS-11などの展示を行い、空港導入エリアとしての機能を強化するとして、実施に向け進められている。また、概算事業費を見ると、全体で17億8,000万円であり、このYS-11の展示には相当なる予算がかかることされている。集客のための目的で計画されたと思うが、本当にメインとするほど必要なものなのか。今、市民が望んでいる施設は、子供を連れて行ける場所、子供の遊び場になる公園的な場所を望んでいる。よくそつという施設が欲しいという声を聞いている。それらを踏まえ、導入機能としてのYS-11の展示と概算事業費の見直しを是非すべきだと思うが、見解を伺う。

A 産業経済部長 導入する機能については、「小美玉市まちづくり構想推進委員会」で様々な意見をいただいております。議員からご指摘のYS-11などの飛行機の展示については、インシャルコスト及びランニングコストが大きく、将来にわたりコスト面の懸念があることから、慎重に導入を検討すべきのご意見をいただいている。また、概算事業費として、約17億8,000万円と算定しており、内容は土木工事費で約4億7,000万円、建築工事費で6億6,000万円、土地取得費に約2億円、旅客機の機体購入・設置費に4億5,000万円と試算している。したがって、今後行われる実施計画の中で慎重に検討する。

最後に、市長に伺う。Q市のまちづくりを進める中では、「そ・ら・ら」の活性化は重要である。私は、この計画全てが悪いと言っているわけではない。この計画のよいところは進め、見直すべきところは見直すといったことが必要であり、ぜひ、市長の考えを十分に反映した計画にしてほしいと思うが、市長はそのような考えはあるのか伺う。

A市長 まちづくり構想の中の計画である「そ・ら・ら拡張計画」については、私の公約の中にあります「空港を核としたにぎわいづくり」に寄与するものと考えている。新たなまちづくりを実現するため、私の公約に基づき検討してまいりたいと考えている。

その他の質問 「重層的支援体制整備事業」の推進について

実質単年度収支の連続赤字の回避が論点となる

事務事業の取捨選択を令和5年度予算編成方針に反映させる



谷仲 和雄

Q 近年における一般財源の歳出傾向を踏まえ、実質単年度収支ゼロの均衡財政について、市の見解は。

A 企画財政部長 令和3年度の単年度収支は約5億7千万円の黒字となったが、財政が好転したのではなく、歳入超過、歳入不足、又は不用額、それぞれ

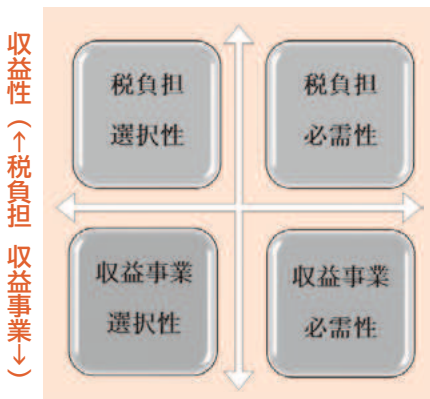
の状況から計算される収支の規模が前年度を上回ったということ。コロナ禍による先行き不透明感により市税等の大幅な増額が見込めない状況や扶助費や公費費の義務的経費、継続中の普通建設事業費や道路維持管理経費の増大等も見込ま

れることから、実質単年度収支ゼロの均衡財政は厳しいと考えている。

Q 答弁を踏まえ、今後、実質単年度収支の連続赤字回避が論点となる。そこで、行政評価に基づく事務事業の取捨選択を令和5年度予算編成にどのように反映させていくか。

A市長 少子高齢化やコロナ禍など厳しい状況にあるが、予算編成を変革する好機と捉え、新しい生活様式への対応やDX推進計画によるスマート自治体を進めることにより、事務事業の取捨選択を大胆に決断し、確実に実行していきたい。

▼公共（行政）関与度のマトリクス図（質問のイメージ）



公共関与の度合い（←選択性 必需性→）

令和5年度の予算編成方針には、この考えを反映させ予算編成するよう指示する。

その他の質問  
資金繰りとなる会計実務から、基金からの繰替運用、一時借入れの傾向、不用額を抑える資金管理の工夫について

カーボンニュートラル：温室効果ガスの排出量を均等させ、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること



## 村田 春樹

# 期日前投票所の新設について

## 試験的に期日前投票所を開設する

**Q** 期日前投票所新設について、現在の進捗状況を伺いたい

**A 総務部長** 本格的な設置の前に、年内に予定されている茨城県議会議員一般選挙の際に試験的に新たに期日前投票所を開設し、その有効性や効果を検証していく。

**Q** 2050年カーボンニュートラルに向けた進捗状況について

**A 市民生活部長** 本計画における市の地球温暖化対策の主な取組みは、いばらき県央地域連携中枢都市圏9市町村による温室効果ガスの削減を図るため、ノーマイカーウィークやエコドライブの実践などによる「エコライフチャレンジ事業」、公共施設における照明のLED化を含めたエコオフィスの推進などを行っている。

**Q** ゼロカーボンを実現するため、小美玉市内全公共施設に電気自動車の電気スタンド設置を提案する

として検討する。

**Q** 大規模災害に備え、再生エネルギーの活用を提案する

**A 市民生活部長** 建物等について、長寿命化や修繕・更新時期の分散、財政負担の平準化等を考慮しながら、公共施設への再生可能エネルギーの活用又はゼロエネルギービル化なども含め、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて検討する。



▲電気自動車用スタンド

**A 市民生活部長** 二酸化炭素の排出量を抑制する効果の高い電気自動車と電気スタンドの公共施設への設置については、国内外の自動車メーカーが電気自動車の導入に積極的に取り組んでおり、急速にその普及が進んでいる現状を踏まえ、「ゼロカーボンシティ」の推進、市民サービス向上の観点から、今後計画的に取り組みたい。

## プレゼントクイズ

### 第65回 プレゼントクイズ

今回の議会日より第67号の中から、問題を3つ出題します。正解した方の中から抽選で、10名の方に空のえきそ・ら・ら「フードコートレストランかぐや」で利用できる食事券(2,000円分)をプレゼントします。ぜひご応募ください！

#### 令和4年第3回定例会

- 問① 令和3年度一般会計歳出予算  
決算額は〇〇〇億円で認定。
- 問② 決算特別委員会 市内循環バスラッピング等  
委託料決算額は〇〇〇万円。
- 問③ 一般質問者数は〇〇名。

◇応募方法 はがき・FAXなどで、住所、氏名、クイズの答えを明記してご応募ください。また、議会や本紙に対するご意見やご感想をあわせてお寄せください。

◇締め切り 令和4年11月30日(水)まで  
\*当日消印有効

◇応募先 〒319-0192 小美玉市堅倉 835  
小美玉市役所議会事務局宛 FAX: 0299-48-1199  
☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用しません。  
☆クイズ当選者発表は食事券の発送をもってお知らせします。



応募用 QR

◆第64回クイズの正解： 問① 13 問② 11 問③ 禁止

## 会議録検索システムをご利用ください

市議会のホームページから会議録を簡単に閲覧・検索できます。「会議録の閲覧・検索」をクリックすると検索画面に移ります。日付や気になるキーワードなどを入力すると簡単に検索できますので、議会で何が議論されているかぜひご覧ください。

